柳津町地域公共交通計画

■計画の基本事項

○目的

本町では、第６次柳津町振興計画の施策の一つとして「公共交通の充実」を掲げています。これまでの経過については、平成２１年度以前は支所管内のみ路線バスを運行（４系統）しておりましたが、町内全域における住民サービスの公平性と移動手段の確保を目的に平成２２年度から町民バス「ふれあい号」として９系統の運行を開始したところであります。

しかし、人口減少、高齢化や公共交通が十分でないために自家用車を保有する方が多いなど、利用者の増加に至っていない状況であり、地域公共交通を取り巻く環境は厳しさを増しております。また、免許を持たない高齢者等の外出支援や交流人口増大による地域活性化など、公共交通への社会的な要請は一層高まっています。

このような社会環境の変化等とともに、地域や公共交通の現状と課題を踏まえ、目指す将来像の実現に向けて公共交通の役割を明らかにするとともに、地域で生活する住民のくらしと外出を支援し、かつ、持続可能な地域公共交通の実現を目指すものとします。

○区域

本区域は、柳津町の全域を対象とします。

なお、会津坂下町に跨る会津バス坂下柳津線やＪＲ只見線との連携・調整しながら検討します。

■柳津町振興計画の総括

基本事業１：町民バス利便性の向上

○利用者のニーズに合ったダイヤ編成、他の交通機関との接続など利便性の確保・向上に努め、利用促進していきます。

基本事業２：運行車両の充実

○安全に快適に運行できるよう車両の維持管理に努め、路線の乗車人数に見合った車両の整備を行います。

基本事業３：公共交通機関等との連携・支援

○公共交通の安定的な運行のため、隣接町村や乗合事業者等との連携・強化を図ります。

No.	成果指標	実績（3 年度）	実績（4 年度）	実績(5 年度)	目標（7 年度）
1	町民バス利用者数（スクールバスを除く）	14,086 人	13,606 人	14,768 人	20,000 人
2	町内の公共交通が便利だと思う町民の割合	63.0%	55.0%	54.0%	60.0%

■地域公共交通を取り巻く課題

課題１：町民バス利便性の向上

○必要最低限の運行便数で運行しているが、利用者にとって十分な機能を果たしているか。

○他公共交通機関（会津バス等）との接続が不十分なダイヤ編成を組まざるを得ない。

○利便性の確保とともに運行経費の縮減を図る必要がある。

課題２：運行車両の充実

○運行車両の更新に係る財源を確保する必要がある。

○高齢者が安心して乗降できるよう安全装備を整備する必要がある。

課題３：公共交通機関等との連携・支援

○乗客数の減や燃料高騰などによる補填金が年々増加し、財政を圧迫している。

○他公共交通機関への乗り継ぎに不便である。

○列車が運休又は遅延している場合、情報を掴めない場合がある。

■基本的な方針と目標

「柳津町のまちづくりの方向性」や「地域公共交通の課題」を踏まえ、本町の地域公共交通の基本的な方針を次のとおり定めます。

（１）快適でうつくしいまちづくりの実現に寄与する。

（２）利便性が高く持続可能な公共交通を目指す。

目標１：町民バスの利便性向上

○利用者の実態等を考慮しながら、通常運行区間の見直し（予約運行区域の増）、そして日中便の便数減への体系変更とデマンド方式採用時を比較するため、その調査を実施する。

○運行経費の縮減を図るため、効率的な運行に努めるとともに運賃の見直しを検討する。

目標２：運行車両の充実

○車両更新の基準については、町有車両に合わせているが、町民バスは年数基準前に相当の距離を走行すること、路線によって車体毎の負荷が異なること、また、貴重な人命を預かる観点から車両の状態を正しく把握し、柔軟な更新を行うこととする。

○更新の際は、赤べこラッピングを施し話題性を持たせ、観光客への周知によって乗客の増加を図る。

目標３：公共交通機関等との連携・支援

○関係機関、運行受託業者との打合せ及び意見交換会開催等、様々な方向から意見を徴し、連携強化を図る。

○会津バス路線の運行について、抜本的な対策を検討する。

○ＪＲからの情報提供の協力依頼を行う。

■計画の推進

本計画は、「地域（住民・民間等)」、「交通事業者」、「行政」の３者が連携し一体となり、計画目標の達成に向け取り組むとともに、それぞれの役割を確認しながら持続可能な交通体系の構築を目指します。

本計画の推進は、町民・学識経験者・交通事業者・道路管理者・交通管理者等で構成する「柳津町地域公共交通会議」が行います。